

論文要旨

女子プロゴルファーの関係性を通じたキャリア形成

経営学研究科

経営学専攻修士課程

マーケティングコース

佃 真実

多くのスポーツ競技で、アスリートの低年齢化が進み、アスリートの競技寿命の延長は大きな課題となっている。各地で国際競技力の向上に向けて、アスリートの育成が盛んに行なわれ、活躍を夢見た若年選手が多数輩出され、結果を上げている。若年選手の台頭は、活性化を生み話題性を提供する一方で、選手の入替わりが激しくなる事を意味する。それは、早い時期で引退の道を選ばなければならない選手を生み、競技寿命を短縮化させる。

本研究は、短命と思われているスポーツ選手が、試合出場期間またはセカンドステージにおける活動を、高いモチベーションを維持し長期化に繋げていくためには、どのような関係性が影響を与えているのか、その要因を明らかにし、移行に際して迷っている選手達への示唆に繋げていく事を目的とする。近年、若い世代が次々と台頭し、注目を集めている日本女子プロゴルフ界を事例とし、研究を進めていく。

関連する先行研究では、動機づけ理論に注目する。動機づけ（モチベーション）とは何か。人は何により、どのようにして動機づけられているのだろうか。経済、社会、自己実現等による動機づけ理論、さらにインセンティブとモチベーションの関連性や、関係性とモチベーションの関連性について解釈を進めた。レビューにより、女子プロゴルファーの動機づけに影響を与える関係性には、外発的動機づけ、すなわち金銭的インセンティブを動機づけとする関係性と、内発的動機づけである人間関係による関係性が存在する。その2つの関係性は人によって比重が違うのだが、動機づけの維持には、人間関係による精神的な支えによる関係性の比重の高さが重要であることを示している。

先行研究を踏まえたプロポジションにより、研究対象である女子プロゴルファー6名、彼らの統括団体である（一社）日本女子プロゴルフ協会（以下：JLPGA）、ファン1名への半構造化インタビューを実施した。各々の女子プロゴルファーが、どのような関係性を構築し、その関係性がどのようにモチベーションへ影響を与えているのか、さらに外発的動機づけと内発的動機づけの関係性の比重は、活動を行なう中で、どのような変化をみせてきたのかを確認した。さらに、その属性により選手を3つのタイプに分類した。

本研究の結果、金銭による関係性に大きな比重をかけることは、見返りを返さなけ

ればならない関係性により、プレッシャーを大きくする。思うような結果が得られないと、焦りが重荷へと変化し、試合出場そのものが不安へと化す。それは成績だけでなく、選手の生活へも大きく影響を及ぼす可能性を示した。

人間関係による関係性に比重をおく場合は、選手自身でその関係性を構築することが必要であるが、見返りを求められずとも、自ら何らかの形で返したい、貢献したいという気持ちが起き互酬性を生む。その気持ちを持ち続けることが、モチベーションの維持へと繋がっていく。JLPGA 及びファンは、選手に寄り添いサポートし続けているが、選手自らが、どのように返していくかを見つけ出す努力をし続けていくことが肝要であることを明らかにした。

本研究により、その比重に差がない選手の存在が明らかとなった。この選手は、金銭面での支えによる関係性、精神的な面での関係性のどちらもが区別なくどちらの関係性も重要だと捉え、モチベーションに影響を与えていることを明らかにした。

本研究のインプリケーションは 2 つである。1 つは、アスリートと動機づけとの関係性に着目し、キャリア形成における関係性とモチベーションの維持に関するメカニズムを明らかにした。2 つの関係性の存在を明らかにし、関係性の重要度はアスリートによって違うものの、その比重がモチベーションに影響を及ぼすというものである。

2 つめに、ステージ移行期におけるアスリートにとって、精神的な動機づけとなる人間関係を自身自身で構築することが重要であり、金銭的な動機づけである関係性との比重を保つ事が、活動の長期化に影響を与えることを発見したことである。

本研究によって、短命とされているスポーツ選手が、試合出場期間またはセカンドステージの活動を、高いモチベーションを維持し長期化させていくための要因を明らかにした。この発見は、移行に際して迷っている選手達への示唆に繋がる可能性があると考えられる。